

第5学年3組 社会科学習指導案

日 時 平成29年10月16日(月) 5校時
 児 童 5年3組男子13名 女子13名 計26名
 場 所 5年3組教室
 授業者 米沢市立西部小学校 徳重 馨

1 単元名「自動車をつくる工業」(東京書籍 新しい社会5年下)

2 単元目標

- (1) 我が国の自動車工業の様子に関心を持って意欲的に調べ、働く人々の工夫や努力によって国民生活を支える我が国の工業生産の役割や発展について考えようとしている。
(社会的事象への興味・関心・態度)
- (2) 我が国の自動車工業について調べた事実を関連付け、自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることや工業の発展について考え、適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- (3) 我が国の自動車工業について具体的な調査活動や文章、写真資料、地図、統計などの資料を活用して適切に読み取り、調べたことや分かったことをもとに、日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーに表すことができる。
(観察・資料活用の技能)
- (4) 我が国の自動車工業に携わる人々の様々な工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働きや自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 教材について

小学校学習指導要領社会の第5学年の目標には、我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにすること、社会的事象を具体的に調査するとともに資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力を育てるようにすることが示されている。これを受けて本単元では、日本を代表する工業である自動車工業を取り上げ、そこに従事する人々の工夫や努力、貿易や運輸などの働きに支えられて生産されていること、環境や人にやさしい車をつくるために研究・開発を重ねていることなどを手がかりにして、我が国の工業生産が国民生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考えられるようにする。

4 児童について(男子13名, 女子13名, 計26名)

	はい	どちらかと言 えば、はい	どちらかと言 えば、いいえ	いいえ
自分の考えを発表することは好きですか。	4	8	4	9
友達と話し合いをすることは好きですか。	13	9	3	0
調べたことをもとに発表することは好きですか。	8	6	7	4
社会の学習は好きですか。	12	10	2	1
社会の学習は生活の役に立っていますか。	11	9	4	1
社会ではどのような学習が好きですか。	調べ学習, ポスターにまとめる活動, 課題を解くこと			
家ではどんなときに自動車を使いますか。	習い事の送り迎え, 外出, 買い物, 家族旅行			
自動車について知っていることはありますか。	電気自動車, メーカー, スポーツカー, 種類, ハイブリッド自動車, 自動運転, 軽自動車, ミラーがついている, ディーゼル車			
将来, 自分も自動車を購入したいと思いますか。	はい …効率がいいから。遠くに出かけられるから。 便利だから。旅行したいから。楽だから。 いいえ …事故が怖いから。値段が高いから。			

社会科についての事前調査では、多くの児童が教科に対して肯定的な考えを持っていた。毎日の自主学習では、社会の授業ノートをまとめ直したり、資料集をもとに自分なりの社会科ブックを作ったりする児童も見られる。一方で、社会科を苦手ととらえる児童も少なくない。小学校社会科の学習内容は多岐に渡り、たくさんの社会的事象に触れるため、ともすると負担に感じる児童がいるようである。また、社会の学習を「生活に役立つもの」として実感できていないことも、苦手と感じる一因であると考えられる。ただし、本単元の題材である「自動車」については、ほとんどの児童が何かしらの知識・経験をもっており、適切な手だてを行うことにより、興味関心を喚起し、積極的な学習を促すことができると考えられる。日常の学習の様子を見ると、全体として、人前で話すことに消極的である。考えをもてない、または、考えをもっているが発言するまでに至らない児童が多い。一方で、調べ学習や、調べたことをもとに形あるものとしてまとめるような活動は好む傾向にある。発言が苦手な児童でも、本やインターネットに積極的にあたり、進んで調べようとする姿が見られる。

上記のような学級の実態をふまえ、本単元においては、適切な課題を提示することで児童が興味関心をもって、進んで学習に取り組むことができるようにしていく。また、思考を促し、視覚的に整理することができるように思考ツールを活用させる。個人思考及び、グループでの話し合いに生かすことで、学びがより一層深まるようにしていきたい。

5 指導にあたって

【学習指導要領とのかかわり】

第5学年 2内容

- (3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。
- ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること
 - イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など
 - ウ 工業に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの動き

【研究とのかかわり】

『子供の思考をアクティブにする単元構成の工夫』 ～単元を通じた問題解決学習～

【研究の視点】

(1) 子供の学習意欲を喚起し、単元全体の課題について見通しを持たせる導入

- 学習意欲を喚起するために、子供たちに「なぜだろう」という疑問を持たせる資料提示の仕方を工夫する。
- 学習問題に対する予想をさせる際に、グループで予想を精査する活動を行うことで予想を学習計画に反映させ、自分の考えをもとに調べていこうという意欲付けを行う。
- 日本の自動車生産に携わる人々が消費者の需要にこたえ、環境に配慮しながら優れた製品を生産するために様々な努力や工夫をしていることや運輸の働きについて、単元全体を通して考えさせるために、それらを「日本の自動車づくりのよさ」としてキャッチコピーを書く。また、この活動を「単元全体を貫く活動」として位置づけ、導入時に子供たちと確認することで単元全体の見通しを持たせるようにする。

<本時>

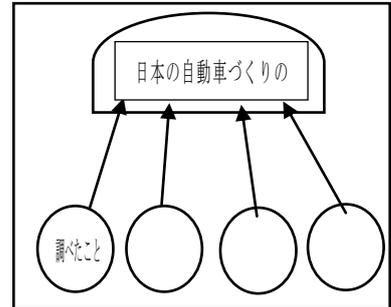
- 日本の自動車の国内外における生産・販売台数を資料として示すことで、日本の自動車が世界中に流通していることをとらえさせるとともにその理由を話し合うことで、本単元で調べてみたいことを考える足掛かりにしていく。
- 学習問題を予想する際に、「①個人で考え、付箋に書き出す」「②グループで付箋に書き出したものを発表しあい、それぞれの予想を仲間分けして見出しに書き出す」「③グループで発表したものを全体で話し合う」という活動を取り入れる。個人で考えた予想を学習計画に反映させて児童の考えをもとに調べる視点を決定することで自分の考えのもとで調べていく意欲付けを行う。ま

た、予想を話し合い、精査することで個人では考ええない新たな考えに気づかせていく。

○本時の終末でキャッチコピーづくりをささえる思考ツール「クラゲチャート」について説明し、児童の疑問を解決する中で調べたことを通して日本の自動車づくりのよさを考えていくことを確認し、単元全体の見通しをもたせる。

(2) 調べたことをもとに、対話しながら考えを深めるための調べ活動

○調べ学習を行う際には、思考ツールを活用して調べたことを構造化しながら自分の考えを持たせたり、グループまたは全体で話し合いながら考えを深めたりできるようにする。具体的には、日本の自動車生産に携わる人々が消費者の需要にこたえ、環境に配慮しながら優れた製品を生産するために様々な努力や工夫をしていることや、運輸の働きについて個人で調べたものをもとにグループごとにそれぞれの視点での日本の自動車づくりのよさについて話し合いながら見出しを考え、さらに全体で発表し合いながら自動車づくりのよさについて確かめ合うことで、単元末でキャッチコピーを書く際の足掛かりにしてい



く、単元末でキャッチコピーを書く際の足掛かりにしてい

(3) 学んだことを生かし、深めるためのまとめ活動

○「日本の自動車のよさ」をキャッチコピーとしてまとめる活動を通して、毎時間の学習の積み上げを実感し、次の学習へ向かうための意欲付けを図ることができるようにする。キャッチコピーを作る活動は、学んだことから共通点を探し、短い文章にまとめる活動である。個々の事象を個別にとらえるのではなく、抽象的な概念としてとらえさせることで、他の産業の仕組みと比較することができ、より広い目で日本の産業をとらえることができるようにする。

6 単元の指導と評価の計画 (全8時間 本時1/8時間)

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	【評価の観点】 評価規準 (方法)
問題をつかむ	1・2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車私たちの生活と結びついていることに興味をもつ。 ・米沢市内のカーディーラーで働く方 (ゲストティーチャー) から話を聞く。 ・自分の家の自動車や、バス・タクシーなどの交通機関、近所の自動車販売店などについて想起させ、自動車が私たちにとって身近なものであることに気付かせる。 ○学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ・資料から、日本車が世界中で売れていることを知る。 ・日本の自動車が世界中で売られている事実をもとに、売れている理由を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">日本の自動車のよさを調べていこう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車は、私たちの身近なところに存在していることに気付かせる。 ・資料から気づくことを考えさせる。 ・付箋紙に日本の自動車のよさを書き出し、分類させる。 ・一人一人に考えを持たせ、全体で交流させる。 	<p>【関】自動車が自分の生活と結びついていることに気付いている。(発言・ノート)</p> <p>【関】自動車工業について調べたいことを整理し、意欲的に調査活動に臨もうとしている。(発言・ノート)</p>
調べる	3	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の自動車づくりの様子について調べ、そのよさをキャッチコピーにまとめる。 ・組み立て工場の様子を調べ、働いている人の工夫や努力をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の生産過程や自動車生産に携わる人々の工夫や努力に着目させる。 ・キャッチコピーを作ることで、日本の自動車づくりのよさをとらえさせる。 	<p>【技】自動車の生産工程や自動車生産にたずさわる人々の工夫や努力を読み取り、キャッチコピーに表している。(キャッチコピー)</p>

	4	<p>○日本の自動車づくりの様子について調べ、そのよさをキャッチコピーにまとめる。</p> <p>・組み立て工場の様子を調べ、効率よく自動車をつくる工夫をまとめる。</p>	<p>・製品や部品の流れ、効率のよい製造工程について目を向けさせる。</p>	<p>【技】自動車工場で働く人々が、よりよい自動車を効率よくつくるために様々な工夫や努力をしていることを読み取り、キャッチコピーに表している。(キャッチコピー)</p>	
	5	<p>○日本の自動車づくりの様子について調べ、そのよさをキャッチコピーにまとめる。</p> <p>・部品工場の様子を調べ、自動車の部品がどのように組み立て工場に運ばれていくのかをまとめる。</p>	<p>・組み立て工場と部品工場の関係について気づかせる。</p>	<p>【技】自動車の部品をつくる過程やその輸送について調べ、一台の自動車をつくるために多くの向上が連携していることを読み取り、キャッチコピーに表している。(キャッチコピー)</p>	
	6	<p>○日本の自動車づくりの様子について調べ、そのよさをキャッチコピーにまとめる。</p> <p>・自動車がどのようにして消費者に届けられるのか、その過程と方法についてまとめる。</p>	<p>・完成した自動車が消費者のもとへ届けられる過程を、資料をもとに読み取らせる。</p>	<p>【技】完成した自動車がどのように消費者のもとへ届けられるのか、また、海外で現地生産が行われていることを読み取り、キャッチコピーに表している。(キャッチコピー)</p>	
	7	<p>○日本の自動車づくりの様子について調べ、そのよさをキャッチコピーにまとめる。</p> <p>・自動車が人や環境に与える影響を知り、今後どのような自動車がつくられていくのかを考える。</p>	<p>・自動車が人や環境に与える影響について考えさせる。</p>	<p>【技】自動車生産にたずさわる人々が、環境に配慮しながら、人と環境に優しくすぐれた自動車を生産するために様々な工夫や努力をしていることを読み取り、キャッチコピーに表している。(キャッチコピー)</p>	
	まとめる・生かす	8	<p>○日本の自動車づくりについてまとめる。</p> <p>・キャッチコピーをもとにこれまでの学習をまとめ、日本の自動車づくりのよさを考える。</p> <p>○学習のまとめをゲストティーチャーに発表する。</p>	<p>・これまでの学習をもとに、一人一人に考えをもたせ、全体で交流させる。</p>	<p>【思】国民生活を支える自動車工業の重要な役割について考えたことをまとめている。(ノート)</p>
		9	<p>○自動車工業と自分たちの生活とのつながりについて話し合う。</p> <p>○キャッチコピーをもとに、日本の他の産業とのかかわりや共通点を考える。</p>	<p>・既習の内容と比較させ、日本の他の産業とのかかわりや共通点に目を向けさせる。</p>	<p>【思】日本の自動車工業が様々な工夫や努力によって維持発展し、国民生活を支える重要な役割を果たしていることに気づいている。(ノート)</p>

7 本時の指導

(1) 目標

- ・日本の自動車づくりのよさを予想し、そこから学習問題を考えることにつなげている。
(社会的な思考・判断・表現)
- ・資料を読み取り、日本の自動車工業の様子についてとらえることができる。
(観察・資料活用の技能)

(2) 指導過程

時間	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	指導上の留意点 (※) 評価 (★)
3	<p>○資料を見て、気付いたことを発表しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>日本の自動車生産台数 977万台 日本車の輸出台数 446万台</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・日本車はたくさん売られています。 ・外国にもたくさん輸出しています。 ・生産台数の半分近くが外国に輸出されています。 <p>○日本の自動車が外国でもたくさん売れているのは、なぜでしょう。</p>	<p>※統計資料を示し、日本車が世界で売られていることをとらえさせる。</p> <p>★【観察・資料活用の技能】 日本の自動車工業の生産の特徴について、輸出台数から捉えることができる。(発言・ノート)</p>
<p>【めあて】日本の自動車が売れる理由を予想して、そこから学習問題をつくろう。</p>		
5	<p>○日本の自動車がたくさん売れる理由を資料から考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動ブレーキなど、事故に遭いにくい工夫がされているのだと思います。 ・自動運転など、便利な機能が備わっているからだだと思います。 ・他の国の自動車より価格が安いのだと思います。 ・見た目がカッコいいのだと思います。 ・故障しにくいのだと思います。 ・ハイブリッド自動車や電気自動車など、環境に優しい自動車があるからだだと思います。 ・お客さんが欲しい自動車を、早くたくさんつくることができるからだだと思います。 	<p>※日本の自動車が売れる理由を考えさせる。</p>
<p>【学習問題をつくる】 日本の自動車づくりには、どのようなよさ(工夫や努力)があるだろうか。</p>		
30	<p>○日本の自動車づくりのよさを予想してみよう。</p> <p>○他にはどんな理由があるでしょうか。これまで学習した農業や水産業を振り返ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く人の工夫や努力があると思います。 ・機械や新しい技術を取り入れたのだと思います。 ・環境問題に気をつけていることだと思います。 <p>(指示)</p> <p>①グループで予想を発表し合い、予想の仲間分けをしてみよう。</p> <p>②仲間分けした予想を、どのように調べていけばよ</p>	<p>※学習問題を予想させ、それをもとにして、学習計画を立てる。</p> <p>※既習の内容をもとに、自動車そのもののよさ以外にも目を向けさせる。</p> <p>※まず、個人に日本の自動車づくりのよさについて付箋紙に書き出させる。次に、グループになり、ホワイ</p>

7	<p>いかについて話し合ってみましょう</p> <p>③学級全体で、各グループのホワイトボードを活用して「予想と、どのように調べていくか」を確認し、実際に「何を、どのように調べていくのか」をみんなで考えましょう。</p> <p>④学習計画を立てましょう。</p> <p>○自分が調べてみたいと思う日本の自動車づくりのよさを考え、グループで整理・発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車の性能に関わること ・働く人の工夫や努力に関わること ・自動車をつくる工場に関わること ・環境問題に関わること ・お客さんに関わること 	<p>トボードを活用して付箋紙を分類させる。</p> <p>★【社会的な思考・判断・表現】</p> <p>日本の自動車が世界で売れている理由を考え、学習問題を考えようとしている。</p> <p>※日本の自動車づくりのよさについてキャッチコピーにまとめていくことと、その方法について確認する。</p>
<p>日本の自動車づくりのよさを調べていこう。</p>		
<p>○これからの学習計画を確認しましょう。</p> <p>○次時の予告をする。</p>		

8 成果と課題

(1) 成果

- ・日本車のテレビCM及び、生産台数を提示（ICTの活用）したことで、イメージの共有化を図るとともに、学習意欲を高めることができた。
- ・思考ツールを用いての考えの分類は、他者との共通点や相違点を発見するうえで有効であり、話し合いを深めるのに役立った。思考ツールは日常の学習の中でも、積極的に活用する姿が見られるようになった。
- ・日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーにまとめる活動は、自動車産業を構造的に理解するのに役立った。出来上がったキャッチコピーを他産業のものと比較し共通点を認識することで、日本の産業のよさについても理解することができた。

(2) 課題

- ・ICTの活用は単元をイメージするうえで役立ったが、提示した内容についての吟味が不十分であった。児童がとらえるべき「働く人の工夫や努力」についての視点がぼやけ、明確な課題意識をもたせることができなかった。そのため、本時の学習の展開について、児童の思考と乖離するところが見られ、何をすべきか曖昧なまま学習が進んでしまった。課題を持たせる際に提示する中身とその提示の仕方について、深く吟味すべきであった。
- ・初期のキャッチコピーは抑えるべき内容が十分でないものが多かったが、単元の進行とともに適切に書けるようになっていった。その際、授業の中で書き方指導を行うが、そちらに時間を割かれることが多くなった。より適切な単元計画、及び、他教科との連携を図りながら効率よく学習を行っていきたい。
- ・グループでの話し合いの際、人数や与えるホワイトボードの大きさが適当ではなかった。多人数に小さなホワイトボードを与えたため、発言者が少なくなり、また、考えをまとめるうえでも困難が生じた。適切なグルーピングと、児童の思考を停止させない教具の工夫が必要であった。

第5学年2組 社会科指導案

日 時 平成29年11月8日(水) 3校時
児 童 5年2組男子15名 女子16名 計31名
場 所 5年2組教室
授業者 高島町立糠野目小学校 守岡 太郎

1 単元名「自動車をつくる工業」(東京書籍 新しい社会5年下)

2 単元目標

(1) 我が国の自動車工業の様子に関心を持って意欲的に調べ、働く人々の工夫や努力によって国民生活を支える我が国の工業生産の役割や発展について考えようとしている。

(社会的事象への興味・関心・態度)

(2) 我が国の自動車工業について調べた事実を関連付け、自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることや工業の発展について考え、適切に表現することができる。

(社会的な思考・判断・表現)

(3) 我が国の自動車工業について具体的な調査活動や文章、写真資料、地図、統計などの資料を活用して適切に読み取り、調べたことや分かったことをもとに、日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーに表すことができる。

(観察・資料活用の技能)

(4) 我が国の自動車工業に携わる人々の様々な工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働きや自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解することができる。

(社会的事象についての知識・理解)

3 教材について

小学校学習指導要領社会の第5学年の目標には、我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにすること、社会的事象を具体的に調査するとともに資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力を育てるようにすることが示されている。これを受けて本単元では、日本を代表する工業である自動車工業を取り上げ、そこに従事する人々の工夫や努力、貿易や運輸などの働きに支えられて生産されていること、環境や人にやさしい車をつくるために研究・開発を重ねていることなどを手がかりにして、我が国の工業生産が国民生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考えられるようにする。

4 児童について(男子15名 女子16名 計31名)

本学級の児童は、社会科への関心が高く、今まで知らなかったことを自分の知識として積み重ねることのできる調べ学習にも意欲的に取り組むことができる。寒い土地のくらしの学習では、きびしい寒さや気候をどのようにくらしや産業に生かしているか、「農業」「くらし」「文化」という視点から教科書やインターネットの情報をまとめ、伝え合うという活動に取り組んだ。米づくりのさかんな地域の学習では、教科書を通して学んだ知識から、さらにもう一步踏み込んで追求したい学習課題をグループごとに設定し、インターネットや図書室の本から情報を集め、まとめる活動に取り組んだ。二つの調べ学習を通して、表やグラフを適切に読み取った

り、自分が必要とする情報を探し出したりする力がついてきた。その一方で、学習して得た知識や見方、考え方を活用して自分の考えを論理的に組み立て、表現したりすることや、自分の考えを友だちに伝えたりすることに課題がある。調べてきたことが知識面の事実確認で終わってしまうことが多く、社会的事象を比較したり関連させたりして、その結びつきを多面的・多角的に考えるまでには至っていない。小学校社会科の学習指導要領では、能力に関する目標の中で、第5学年で「社会的事象の意味について考える力」、第6学年で「社会的事象をより広い視野から考える力」を育成していくとある。この第6学年の目標につなげるためにも、この単元を通して、社会的事象について多角的に考えるきっかけをつかんでもらいたいと考える。

自動車については、メーカー名はわかるものの車種・車名などは知らない児童がほとんどであった。生まれた時から家にあり、常日頃から利用しているものではあるが、移動の一手段の自動車というのが児童の認識の実態であると考え。本単元を通して、我が国の自動車工業が世界に誇ることができるほど世界的にトップ水準の産業であること、私たちの生活と密接な関係があることに気づかせながら、学習意欲を高めていく支援や工夫が大切である。

5 指導にあたって

【研究とのかかわり】

『子供の思考をアクティブにする単元構成の工夫』

～単元を通じた問題解決学習～

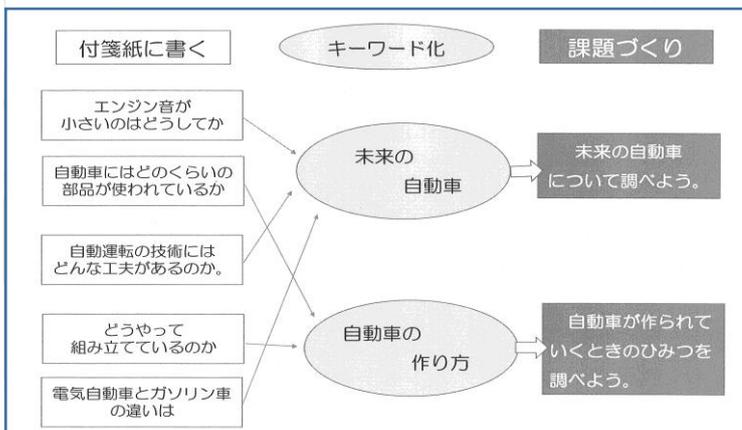
【研究の視点】

(1) 子どもの学習意欲を喚起し、単元全体の課題について見通しを持たせる導入

○学習意欲を喚起するために、子どもたちに「なぜだろう」という疑問を持たせる資料提示の仕方を工夫する。
 具体的には、自動車づくりに関わる写真や動画を授業の導入で提示し、視覚的な情報から「なにをするものなのか」「どんな工夫があるのか」など、子どもたちに予想させた上で新しい知識と出会わせるようにする。そうすることで、新しい気づきに驚いたり、学びが深まったりすることを体験しながら学習を進めていくことができ、その結果子どもたちのさらに学びたいという意欲を引き出すことにつながると考える。

(2) 様々な考え方にふれ、対話しながら自分の考えを深めていくグループ活動

○自分たちの生活に身近な存在の自動車について、本単元の学習の『つかむ』段階（疑問点を明らかにする）で、思考ツールを活用して調べる。調べたいことを構造化し、自分の考えと友だちの考えとを分類・整理することで、多面的・多角的な思考活動をうながすようにする。自分が追求してみたいと思った疑問をできるだけ短い言葉で付箋に書き出させ、



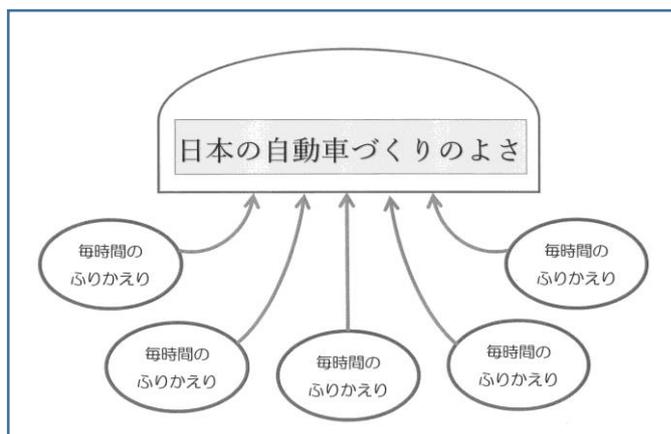
分類・整理し、仲間分けしたものをキーワードでまとめ、グループとして調べていく学習課題づくりにつな

げていく。

(3) 学んだことを生かし、深めるためのキャッチコピーづくり

○その日の学びのふりかえりをキャッチコピーとしてまとめる活動を通して、毎時間の学習の積み上げを実感し、次の学習に向かうための意欲付けを図ることができるようにする。キャッチコピーを作る活動は、学んだことの中から大事なキーワードに注目し、組み合わせ、短い文章にまとめる活動である。国語「広がる、つながる、わたしたちの読書」の学習では、キャッチコピーとは『相手を引きつけるように工夫された、短い言葉』のことであると全体で確認した。本単元では、この学習を生かして、「自分の学んだことが友だちにもわかりやすく伝わるようにしよう」というめあてで、各授業のふりかえりにキャッチコピーづくりを取り入れていく。

○各授業のふりかえりをキャッチコピーでまとめていくので、学びの積み重ねがなされていくだけでなく、その授業の大事なポイントを一目で振り返ることができると思う。さらに、キャッチコピーがまとめられているふりかえりのワークシートをグループで交流することで、自分の意見と友だちの意見との共通点・相違点に視覚的にも注目しやすくなるため、自分の学びがより深まっていくと期待している。



○単元のまとめを行う際にも、思考ツールを活用し、今までの学習のふりかえり（キャッチコピー）を構造化しながら、「日本の自動車づくりのよさは何か」という学習課題に対しての自分の考えをまとめていけるようにする。

6 単元の指導と評価の計画（全9時間 本時9／9時間）

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	【評価の観点】 評価規準（方法）
問題をつかむ	1	<p>○写真資料や昔と今の自動車の保有数のグラフから、自動車とわたしたちの生活が深く結びついていることに興味を持つ。</p> <p>・おうちの人がなぜその自動車を購入したのか事前にインタビューさせ、自分が乗りたい自動車とおうちの人が買った自動車を比較し、購入する時に様々な視点で検討することを実感させる。</p> <p>・自分の家の自動車や、バス・タクシーなどの交通機関、近所の自動車販売店などについて想起させ、自動車がわたしたちにとって身近なものであることに気づかせる。</p>	<p>・自動車は、わたしたちの身近なところに存在していることに気づかせる。</p> <p>・自動車がわたしたちの生活を変え、豊かにしてきたことをとらえさせるようにする。</p>	<p>【関】自動車が自分の生活と結びついていることに気づいている（発言・ノート）</p>

	2	<p>○学習問題をつくり，それに対する予想から学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から，日本車が世界中で売られていることを知る。 ・日本の自動車づくりで調べたいことを分類・整理・キーワード化し，学習課題をつくる。 <p>日本の自動車づくりのよさについて，働く人々の工夫や努力を調べよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から気づくことを考えさせる。 ・付箋紙に日本の自動車づくりで調べたいことを書きだし，分類させる。 ・一人一人に考えを持たせ，全体で交流させる。 	<p>【関】自動車工業について調べたいことを整理し，意欲的に調査活動に臨もうとしている。(発言・ノート)</p>
調べる	3	<p>○自動車の生産工程や，働く人々の工夫や努力について調べ，その面での日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組み立て工場がどのような仕組みになっているのか，そこで働く人々はどのような工夫や努力をしているのか調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の生産過程や自動車生産に携わる人々の工夫や努力に着目させる。 ・キャッチコピーを作ることで，日本の自動車づくりの良さを端的にとらえられるようにする。 	<p>【技】自動車の生産工程や自動車の生産に携わる人々のクフや努力を読み取り，キャッチコピーに表している。(ワークシート)</p>
	4	<p>○よりよい自動車を効率よくつくるための工夫について調べ，そのよさをキャッチコピーにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組み立て工場の様子を調べ，効率よく自動車を作るための工夫や努力についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品や部品の流れ，効率のよい製造工程について目を向けさせる。 ・キャッチコピーを作ることで，日本の自動車づくりの良さを端的にとらえられるようにする。 	<p>【知・技】自動車工場で働く人々が，よりよい自動車を効率よくつくるために様々な工夫や努力をしていることを読み取り，キャッチコピーに表している。(ワークシート)</p>
	5	<p>○自動車の部品がどのように作られ，運搬されているのか調べ，その工夫や努力をキャッチコピーにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部品工場（関連工場）の様子を調べ，自動車の部品がどのようにつくられ，組み立て工場に運ばれているのかをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組み立て工場を部品工場（関連工場）の関係について気づかせる。 ・キャッチコピーを作ることで，日本の自動車づくりの良さを端的にとらえられるようにする。 	<p>【知・技】自動車の部品をつくる過程やその運搬について調べ，一台の自動車をつくるために多くの工場が連携していることを理解し，キャッチコピーに表している。(ワークシート)</p>
	6	<p>○完成した自動車がどのように消費者のもとへ届けられるのか調べ，その工夫や努力をキャッチコピーにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車が消費者に届くまでの過程に携わる人々の工夫や努力について調べ，その過程と方法をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した自動車が消費者のもとへ届けられる過程を，資料をもとに読み取らせる。 ・キャッチコピーを作ることで，日本の自動車づくりの良さを端的にとらえられるようにする。 	<p>【知・技】完成した自動車がどのように消費者のもとへ届けられるのか，また，海外で現地生産が行われていることを理解し，キャッチコピーに表している。(ワークシート)</p>

	7	○人と環境にやさしい自動車づくりについて調べ、その自動車づくりのよさをキャッチコピーにまとめる。 ・自動車が人や環境にあてる影響を知り、今後どのような自動車がつくられていくのか考える。	・自動車づくりには、研究開発に携わる人々もいることに気づかせる。 ・キャッチコピーを作ることで、日本の自動車づくりの良さを端的にとらえられるようにする。	【知・技】自動車生産に携わる人々が、環境に配慮しながら、人と環境に優しくすぐれた自動車を生産するために様々な努力をしていることを理解し、キャッチコピーに表している。(ワークシート)
まとめる	8	○日本の自動車づくりについてまとめる。 ・これまでの学習をふり返り、日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーで表し、交流する。	・これまでの学習をもとに、一人一人に考えを持たせ、全体で交流させる。	【技】日本の自動車生産のよさについて調べたことをもとに、キャッチコピーに表している。(ワークシート)
生かす	9 (本時)	○これからの日本の自動車づくりに大切なことを考え、今後求められていく自動車について話し合う。 ・現在販売されている自動車の長所・短所について全体で交流し、確認する。 ・これからどのような自動車が必要とされていくのか一人一人が提案し、分類・整理してキーワードにまとめる。	・自分なりの意見がまとめられるように、個人のふりかえりシートをもとに今までの学習を想起させる。 ・自分の生活につなげて、必要とされる自動車を考えさせるようにする。	【関】これからの自動車づくりの発展について考えることができる。(発言) 【技】今までの学習をもとに、これから必要になってくる自動車についてキャッチコピーにまとめることができる。(ワークシート)

7 本時の指導

(1) 目標

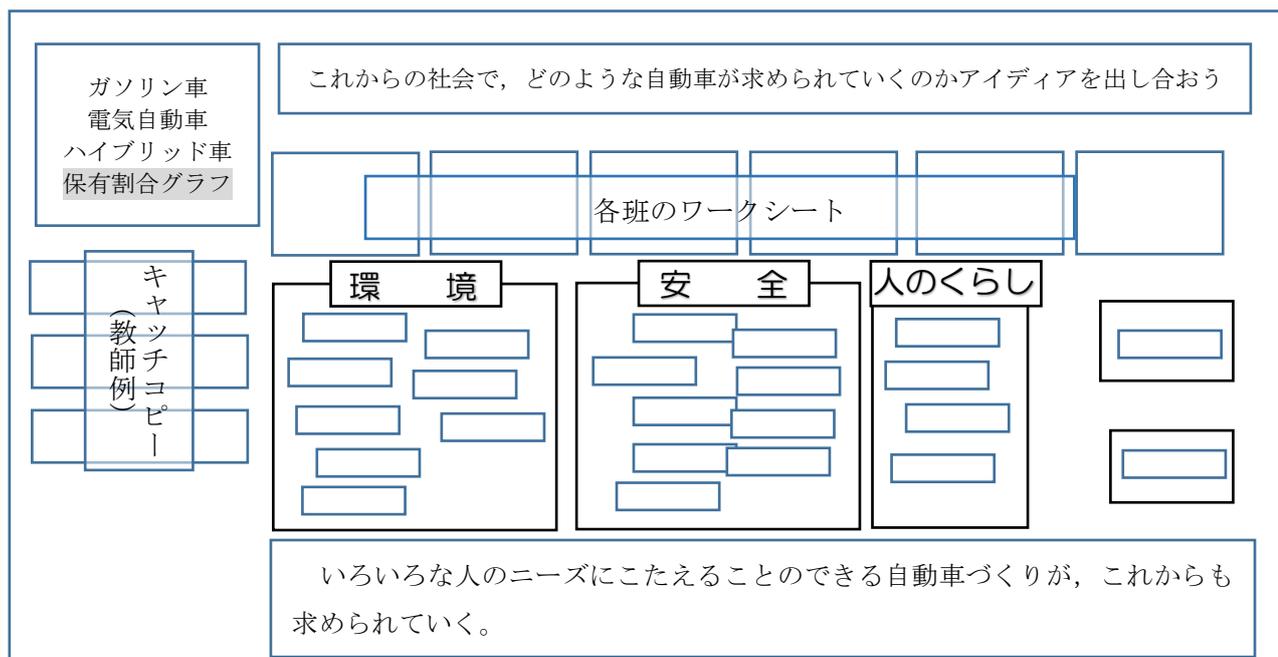
- ・今までの学習をもとに、これから必要になってくる自動車についてキャッチコピーにまとめることができる。(技能)
- ・これからの自動車づくりの発展について考えようとすることができる。(関心・意欲・態度)

(2) 展開

時間	学習内容と活動	○指導上の留意点 ●支援 ◎評価
3	○これまでの学習をふりかえり、学習問題を確認する。	●前時に取り組んだ「日本の自動車づくり」を紹介したキャッチコピーを学びの足跡として掲示しておく。
	これからの社会で、どのような自動車が求められていくのかアイデアを出し合おう	
15	○それぞれの車の長所・短所を話し合おう。 ・ガソリン車 ○今の時代では、一番多く販売されている。 ○安いからだれでも手に入れられる。	○車の特徴を事前にジグソー法を活用して調べておき、話し合いの際に紹介できるよう準備しておく。 ○自分が調べた、その自動車の長所・短所を発表させ、考えの交流を図る。

<p>15</p>	<p>●排気ガスが環境問題になっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド車 <p>○低燃費で、ガソリンが少なくてもはしることができる</p> <p>●ガソリン車に比べると価格が高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車 <p>○排気ガスが出ないから、環境にやさしい。</p> <p>○家の電気を使うことができる。</p> <p>●充電できる場所が近くにあまりないの不便</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転の自動車 <p>○事故が減るので、安全に運転できるようになる。</p> <p>●実用化するまでにはまだまだ時間も費用もかかる。</p> <p>○自分が考えるこれから必要になる「○○(な)自動車」を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どんな人にもやさしい自動車」 ・「地球を守る！未来の自動車」 ・「すごくエコ！水で走ることができる自動車」 ・「寝ててもだいじょうぶ！自動運転の自動車」 	<p>○調べていた情報を報告するだけでなく、グループ内で出てきた意見もワークシートに書き加えていくように指導する。多角的に意見を交流させ、班としての考えを深めていけるようにする。</p> <p>●この中で大事だと思われるキーワードを丸で囲み、次の活動で使用できるようにする。</p> <p>○多くの班のワークシートに登場してきているキーワードや、逆に一つの班だけ注目しているキーワードなどを全体で確認する。</p> <p>○本時に限らず、個人のふりかえりシートに注目させ、今までの学習を通して必要だと思った自動車を考えるように声がけする。</p> <p>○一人一人紙に書かせ、黒板に掲示する。</p> <p>●考えがまとまらない子には、板書のキーワードから選んで書くようにアドバイスする。</p> <p>◎これからの自動車づくりの発展について考えようとすることができる。(関心・意欲・態度)</p> <p>◎これから必要になってくる自動車について、自分の考えをキャッチコピーに表すことができる。(思考・判断・表現)</p> <p>○分類することで、「人のくらし」「環境」「安全」など、既習のキーワードでまとめられることに気づかせる。</p> <p>○クラスの子どもたちの考え(願い)と既習の「ニーズ」という言葉を結びつけ、この言葉を入れて本時のまとめを行うようにする。</p>
<p>10</p>	<p>○みんなの考えた、これから必要になる自動車を分類する。</p> <p>「環境にやさしい自動車」と「水だけで走れるような自動車」は自動車を作る目的が同じような気がする。</p>	<p>◎これからの自動車づくりの発展について考えようとすることができる。(関心・意欲・態度)</p> <p>◎これから必要になってくる自動車について、自分の考えをキャッチコピーに表すことができる。(思考・判断・表現)</p> <p>○分類することで、「人のくらし」「環境」「安全」など、既習のキーワードでまとめられることに気づかせる。</p> <p>○クラスの子どもたちの考え(願い)と既習の「ニーズ」という言葉を結びつけ、この言葉を入れて本時のまとめを行うようにする。</p>
<p style="text-align: center;">いろいろな人のニーズにこたえることのできる自動車づくりが、これからも求められていく。</p>		
<p>2</p>	<p>○学習のふりかえりを行う。</p>	<p>○いろいろな自動車が考えられたことについて感想を交換する。</p>

(3) 板書計画



8 授業実践を通しての成果と課題

(1) 子どもの学習意欲を喚起し、単元全体の課題について見通しを持たせる導入

- 資料や写真を提示することで、視覚的な気づきが増えたり、一人一人が疑問を持ったりする足がかりにすることができた。グラフから情報を読み取り、予想を立てさせることで、様々な考えを引き出すことができ、予想と実際の自動車づくりの工夫や努力で比較したりしながら学習を進めることができた。
- 自動車メーカーやNHKの動画も併せて活用することができた。特に自動車製造ラインの流れを動画で確認することで、新たな疑問を考えるきっかけにもなった。
- ただ「見る」のではなく、資料や写真を見るときにどこに注目するとよいのか、資料を読み取る『視点』をはっきり提示できれば、より深い読み取りができたと思う。

(2) 様々な考え方にふれ、対話しながら自分の考えを深めていくグループ活動

- 学習課題を考える際に、学習ツールを活用することで、児童の思考を整理しながら課題解決学習につなげることができた。
- 自分が疑問に感じたことを付箋に書き、それをグループの友だちの考えと分類・整理し、キーワードでまとめる活動が、重要な用語に着目する姿勢の足がかりとなり、キャッチコピー作りの活動へスムーズにつなげることができた。
- 思考ツールの扱いにグループ・個人差が見られないように、事前に他の教科でも扱うようにし、慣れさせておくと、より効果的にグループ活動を行わせることができたのではないかと考えた。

(3) 学んだことを生かし、深めるためのキャッチコピーづくり

- 毎時間のまとめをキャッチコピーとして短い言葉で言い表すことで、授業の中で大事なポイント（用語）は何なのかを意識してまとめようとする姿勢が見られるようになってきた。
- キャッチコピーをまとめるワークシートを常時教室の側面に掲示していたので、いろいろな児童のキャッチコピーに触れる機会があり、次の時間のキャッチコピー作りの参考になったり、自分の考えを深めたりするきっかけとなった。

- 毎回のまとめをキャッチコピーとしてワークシートに積み重ねていくことで、今までの学習を一目で振り返ることができた。また、単元のまとめとして、「日本の自動車づくりのよさ」をキャッチコピーにまとめる際、特に低位の児童にとって自分の視点を定めやすいようになっていた。
- キャッチコピー作りに慣れるまで時間がかかった。やはり、単元の最初のころは一時間のまとめを短い言葉で言い表すことに苦戦する児童が多かった。社会の学習に限らず、本時の大事なポイントはどこなのかという視点を持って授業に臨む姿勢を今後育てていきたい。
- キャッチコピーづくりを行う際に、今日の学習のキーワードを全体で確認する時間を設けるのも効果的だったのではないかと考える。ある程度、視点を全体で絞ったほうがキャッチコピーを作りやすいという考えがある一方で、視点を絞りすぎると、そろったキャッチコピーになってしまい、互いの学びを深めるところには至らないと感じた。

(4) その他

- 調べる方法をインターネットに設定した児童に、自分の調べたいことをどのサイトで調べればよいか困っていたり、見つけられなかったりしている場面が多く見られた。「インターネットでの効果的な調べ学習の仕方」を子どもたちに定着させるなど、情報学習の面からの課題も見られた。

5 学年社会科指導案

平成29年11月20日（月）

飯豊町立第二小学校

教諭 曾根原 隼

1 単元名 「自動車をつくる工業」（東京書籍 新しい社会5年下）

2 単元目標

(1) 我が国の自動車生産の様子に関心を持ち、自動車をつくる工業の製造の過程や製品の販売、輸送に見られる工夫などについて意欲的に調べようとしている。

(社会的事象への関心・意欲・態度)

(2) 自動車生産の様子と国民生活とを関連付けながら、我が国の自動車生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることや、自動車生産に従事している人々が消費者や社会のニーズに合った新しい技術の開発、資源の有効活用、環境への配慮などの工夫や努力をしていることについて考え、適切に表現することができる。

(社会的な思考・判断・表現)

(2) 我が国の自動車工業について実際にインタビューや様々な資料を活用して必要な情報を集め読み取ったり、調べたことをもとに日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーやキャッチコピーを考えた根拠にまとめるたりすることができる。

(観察・資料活用の技能)

(4) 自動車生産に従事している人々の工夫や努力、貿易や運輸の働きなどと、それらが国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。(社会的事象についての知識・理解)

3 教材について

小学校学習指導要領社会の第5学年の目標には、我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにすること、社会的事象を具体的に調査するとともに資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力を育てるようにすることが示されている。これを受けて本単元では、日本を代表する工業である自動車工業を取り上げ、そこに従事する人々の工夫や努力、貿易や運輸などの働きに支えられて生産されていること、環境や人にやさしい車をつくるために研究・開発を重ねていることなどを手がかりにして、我が国の工業生産が国民生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考えられるようにする。

4 児童について（男子8名、女子9名、計17名）

	はい	どちらかと言えば、はい	どちらかと言えば、いいえ	いいえ
自分の考えを発表することは好きですか。	6	9	2	0
友達と話し合いをすることは好きですか。	9	8	0	0
調べたことをもとに発表することは好きですか。	10	5	2	0
社会の学習は好きですか。	6	10	1	0
社会の学習は生活の役に立っていますか。	7	10	0	0
社会ではどのような学習が好きですか。	調べ学習、ディベート、発表すること、見学に行くこと 米作り、班活動、まとめを書くこと			

家ではどんなときに自動車を使いますか。	外出、スポーツの送りむかえ、買い物、物を持ち運びするとき、-
自動車について知っていることはありますか。	クラクションやワイパーなどの部品がある、ナビにテレビも付いている、タイヤは夏用と冬用がある、ガソリンで動く、たくさんメーカーがある、ライトにハイビームとロービームがある、アメリカはハンドルが逆、
将来、自分も自動車を購入したいと思いますか。	はい …移動が楽 遠いところに行ける 1 5 いいえ … 0 まだ決まっていない… 2

本学級では学力に関わらず社会を好き、どちらかと言えば好きだという児童がほとんどである。理解や作業が速い児童とそうでない児童にはっきり分かれる傾向があるが、興味を抱いたことを調べる活動や、それを活用して話し合うことに積極的な児童が多い。そのため、単元のはじめに児童の興味や関心を引出しながら見通しを持つ活動を丁寧に行ったり、個別やグループで調べる学習に時間をできるだけ設けたりするよう心掛けていく。また、学習全般において調べたことをもとに自分の言葉でまとめることに苦手意識がある。そのため、思考ツールを活用して調べたことを視覚的にとらえさせることで自分の考えを整理して考えたり、資料を読み取る視点を提示したりしながら学びが深まるようにしていきたい。

5 指導にあたって

第5学年 2 内容

- (3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。
- ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること。
- イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など
- ウ 工業に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの動き

<研究テーマ>

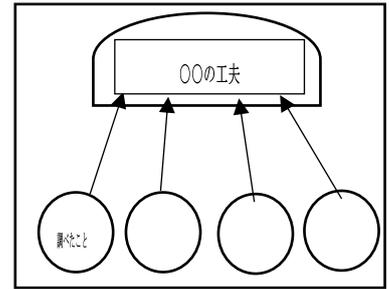
『子どもの思考をアクティブにする単元構成の工夫』
～単元を通した問題解決学習をとおして～

<子どもの思考をアクティブにするための視点>

- (1) 「問い」の吟味～思考を深める発問、解釈・意味づけの発問
- (2) ゴールイメージを持たせる単元構成の工夫
- (3) 共同的な学びツールを活用した表現する活動の工夫～言語活動、表・絵・グラフ等に表わす活動
- (4) 自分と社会とのつながりを意識させる「まとめ」と「振り返り」

(1) について

- ・思考ツール「クラゲチャート」を活用し、日本の自動車工業のよさについて調べたことを根拠にして、キャッチコピーづくりをしていく。また、キャッチコピーづくりをする過程で、自分の根拠となるものを選択させる際、「なぜその情報を選択したのか」を問うことで、自動車工業のよさについての根拠を明確にしたり、根拠同士のつながりに気づかせたりする。



(2) について

- ・単元の「つかむ」で日本の自動車工業のキャッチコピーをつくることを、単元を貫く言語活動として位置づける。
- ・「調べる」では、キャッチコピーをつくるための「日本の自動車工業の工夫」について調べていく。
- ・「まとめる」では自動車工業のキャッチコピーを絵カードに整理してまとめたり、書き溜めたまとめから選んで書かせたりする。

(3) について

- ・自動車生産の過程を調べた上で、①組み立て工場での工夫②関連工場と連携する工夫③世界中の消費者に届ける工夫④安全や環境にやさしい工夫などについて「クラゲチャート」を使ってキャッチコピーづくりをしたり、その根拠を関連付けや分類をしたりする。また、それをもとにして授業の終末にそれまでつくったキャッチコピーの中から選択し、まとめのキャッチコピーづくりに生かせるようにする。

(4) について

- ・単元末に、自分の考えたキャッチコピーと家庭への自動車購買アンケート内容を見返し自動車づくりが自分たちの生活とどのようなつながりがあるのかを考える場面を設定し、自らの生活と日本の工業がつながっていることを意識させる。

6 単元の指導と評価の計画 (時間扱い 本時 4 / 9)

	時	・主な学習活動	【評価の観点】 評価基準 (評価方法)
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・分布図やグラフなどを用いて、自動車の生産台数の変化や自動車工業の盛んな地域について気づいたことやわかったことを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 私たちの生活を豊かにする自動車は、どのような地域で作られているのだろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 街中を走る車の様子から、自動車と自分たちの生活が密接していることに気づかせる。 ◇ 日本の乗用車普及率や自動車生産台数のグラフを 	【関】 自動車が自分の生活と結びついていることに気付いている。(発言・ノート)

	2	<p>読み取り、分かったことを話し合う。</p> <p>◇ 地図資料や日本の輸送機械の生産額のグラフから、愛知県豊田市が自動車生産において大きな役割を担っていることに気づかせる。</p> <p>・日本車が売れている理由について考え学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">日本の自動車が世界で売れている理由を考え、学習問題や学習計画をつくろう。</div> <p>◇ 組み立て工場の役割について予想する。</p> <p>◇ テレビCMなどの資料をもとに日本車が売れている理由を話し合い、学習問題をつくる。</p> <p>◇ 学習の進め方やクラゲチャートでの学び方を確かめ、学習計画を立てる。</p> <p>◇ 学習問題を解決するための調べ方を考える。また、クラゲチャートの書き方を確かめる。</p> <p>◇ 単元を貫く活動としてキャッチコピー作りを行うこと、そのために学習のまとめを書きためていくことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">日本の自動車づくりにはどのような工夫があるのだろうか。</div>	<p>【関】 自動車工業について調べたいことを整理し、意欲的に調査活動に臨もうとしている。(発言・ノート)</p>
調べる	3 4 本時	<p>・自動車の生産工程について調べ、工夫や努力について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">組み立て工場働く人々はどんな工夫をして自動車をつくっているのでしょうか。</div> <p>◇ 1台の車を作り上げるには、どんな作業が必要で働く人たちはどんな思いで作っているのかを予想する。</p> <p>◇ 資料を活用して、自動車ができるまでの様子を調べる。</p> <p>・よりよい自動車を効率よくつくるための工夫について調べ、話し合う。</p> <p>◇ 調べた事柄から、効率よく作るために有効だと思う情報を選び、付箋に書き出す。</p> <p>◇ クラゲチャートをもとに効率よくつくる工夫についてのキャッチコピーをグループで話し合う。</p> <p>◇ グループで話し合ったことを全体で発表し合い、考</p>	<p>【技】 組み立て工場での工夫について調べ、それを基によりよい自動車を効率よく作るための様々な工夫や努力についてノートに整理してまとめることができる。</p> <p>【思】 組み立て工場での工夫について調べたことをもとによりよい自動車を効率よく作るための様々な工夫や努力の関係性をクラゲチャートを活用して考えることができる。(社会的な思考・判断・表現)</p>

	<p>えを深める。</p> <p>◇ 効率よく作る工夫に対する自分なりの考えをまとめる。</p>	
5	<p>・自動車の各部品がどのようにつくられているのかを調べ、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自動車の各部品を作る時に、どのような工夫があるのだろう。</p> </div> <p>◇ 調べた事柄から、各部品を作る時の工夫についての情報を選び、付箋に書き出す。</p> <p>◇ クラゲチャートをもとに各部品を作る時の工夫についてのキャッチコピーをグループで話し合う。</p> <p>◇ グループで話し合ったことを全体で発表し合い、考えを深める。</p> <p>◇ 各部品を作る時の工夫に対する自分なりの考えをまとめる。</p>	<p>【技】 自動車の部品を作る過程やその輸送について調べ、ノートに整理してまとめることができる。</p> <p>【思】 自動車の部品を作る過程やその輸送について調べたことをもとに、それぞれの工場の関連性をクラゲチャートを活用して考えることができる。(社会的な思考・判断・表現)</p>
6	<p>・完成した自動車がどのように消費者のもとへ届けられるのかを調べ、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>完成した自動車を世界中の消費者のもとへ届ける時の工夫を調べよう。</p> </div> <p>◇ 調べた事柄から、世界中の消費者のもとへ届ける時の工夫についての情報を選び、付箋に書き出す。</p> <p>◇ クラゲチャートをもとに世界中の消費者のもとへ届ける時の工夫についてのキャッチコピーをグループで話し合う。</p> <p>◇ グループで話し合ったことを全体で発表し合い、考えを深める。</p> <p>◇ 世界中の消費者のもとへ届ける時の工夫に対する自分なりの考えをまとめる。</p>	<p>【技】 完成した自動車がどのように消費者のもとへ届けられるか、また海外で現地生産されていることについて調べ、ノートに整理してまとめることができる。</p> <p>【思】 完成した自動車がどのように消費者のもとへ届けられるか、また海外で現地生産されていることについてクラゲチャートを活用してその関連性を考えることができる。(社会的な思考・判断・表現)</p>
7	<p>・人と環境にやさしい自動車づくりについて調べ、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>人と環境に優しい自動車づくりにはどんな工夫があるのか調べよう。</p> </div> <p>◇ 調べた事柄から、人と環境に優しい自動車づくりの工夫についての情報を選び、付箋に書き出す。</p> <p>◇ クラゲチャートをもとに人と環境に優しい自動車づくりの工夫についてのキャッチコピーをグループで話し合う。</p>	<p>【技】 自動車生産に携わる人々が環境に配慮しながら、人と環境にやさしく優れた自動車を生産するために様々な工夫や努力をしていることについて調べ、ノートに整理してまとめることができる。</p> <p>【思】 自動車生産に携わる人々が環境に配慮しながら、人と環境にやさしく優れ</p>

		<p>◇ グループで話し合ったことを全体で発表し合い、考えを深める。</p> <p>◇ 人と環境に優しい自動車づくりの工夫に対する自分なりの考えをまとめる。</p>	<p>た自動車を生産するために様々な工夫や努力をしていることについてクラゲチャートを活用して、自動車を作る人々が環境・安全・福祉の視点から開発していることを考えることができる。(社会的な思考・判断・表現)</p>
まとめ	8	<p>・これまでの学習をふり返り、日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーで表し、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>これまでの学習をふり返り、日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーで表そう。</p> </div> <p>◇ 調べてきたことを整理して並べ、自動車づくりの工夫について理解する。</p> <p>◇ 前時まで作成したまとめをもとに、特に興味を持った工夫を選び、自分の考えるキャッチコピーとその根拠を書く。</p> <p>◇ 作成したキャッチコピーを発表し合う。</p>	<p>【思】 日本の自動車づくりの工夫についてクラゲチャートにまとめてきたものを比較、関連付け、総合したりしながらキャッチコピーに適切に表現することができる。</p>
生かす	9	<p>・これまでの学習をふり返り、自動車づくりと私たちの生活とのつながりについて話し合う。</p> <p>◇自分の考えたキャッチコピーと家庭への自動車購買アンケート内容を見返し、自動車づくりが自分たちの生活とどのようなつながりがあるのか自分の考えをまとめ、学級全体で話し合う。</p>	<p>【知】 日本の自動車工業が様々な工夫や努力によって維持発展し、国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて理解することができる。</p>

7 本時の展開

(1) 目標

自動車組み立て工場での働く人々の努力や、よりよいものを効率的に作るための工夫について、調べたことをもとにクラゲチャートにまとめながら、組み立て工場の工夫のキャッチコピーを考えることができる。

(2) 展開

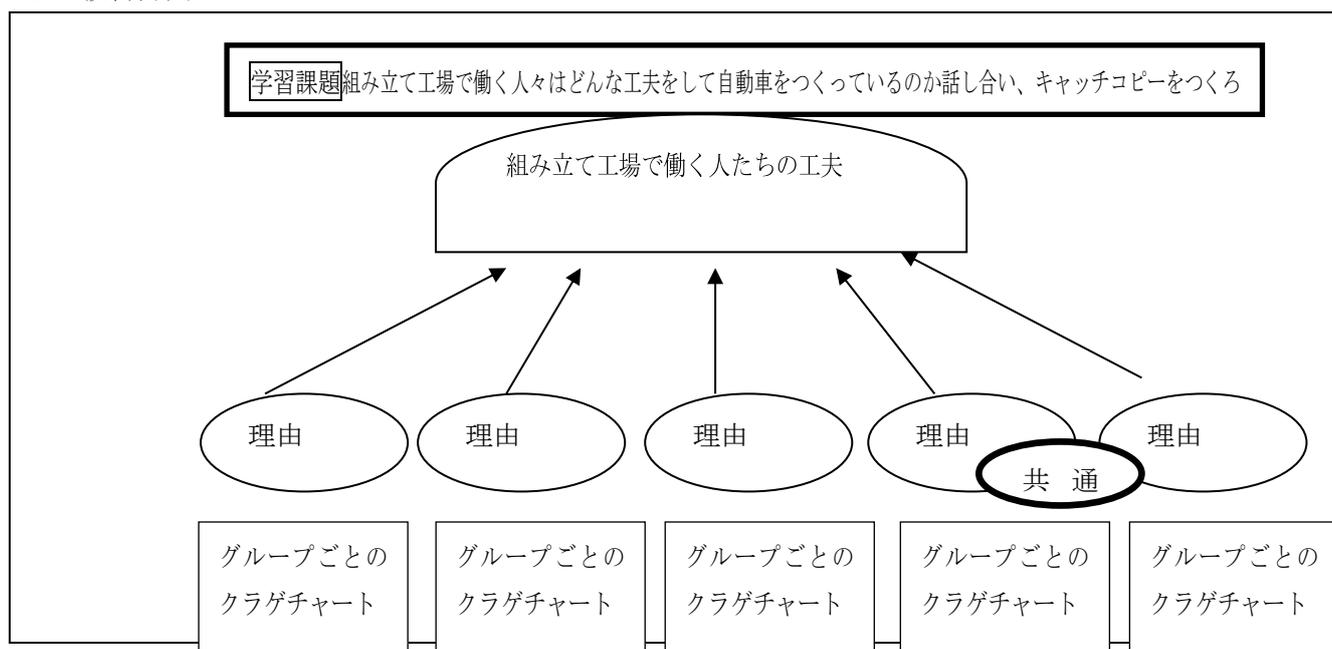
段階	○主な発問 △指示 ・期待する反応	・留意点 □評価
導入 3分	<p>1 既習事項をふり返り、課題を確認する。</p> <p>○ 前の時間には組み立て工場の工夫や努力について調べる活動をしました。いくつぐらい調べられましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんあった。 ・4つ調べられた。 ・1つしかわからなかった。 <p>○ この表を見てみましょう。何の図か覚えていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラゲチャートです。 <p>△ 今日はクラゲチャートを使って、組み立て工場の工夫についてまとめていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に出された予想についても振り返り、課題意識を持たせる。 ・クラゲチャートの使い方をふり返る。

<p>課題の設定 2分</p>	<p>2 学習課題を立てる。</p> <p>組み立て工場働く人々はどんな工夫をして自動車をつくっているのか話し合い、キャッチコピーをつくろう</p>	
<p>課題の検証 15分</p>	<p>3 課題解決に役立つ情報を取捨選択し、付箋紙に書き出す。</p> <p>△自動車を効率よく作るための工夫についてしらべたことを付箋に書き出しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組み立てラインがあり、一定の速さで進むライン上で作業を分担することで正確に自動車が組み立てられます。 ・消費者の注文によって違う種類、ちがう部品がある自動車を、コンベヤーを使って一つの流れの中で作っています。 ・重い部品や体への負担が大きい作業は、ロボットや機械を使って素早くたくさん作っています。 ・安全に作業をしやすくする工夫を会社に提案します。 ・組み立てられた自動車は、1500～2000 もの検査を行って合格したものだけを出荷します。 ・作る時はコンベヤーが動き続けているけれど、問題があったときはひもスイッチを引きます。引いた人の場所が表示や音でわかるので、チームのリーダーが駆けつけて問題を解決します。 ・アンドンという絵と数字が映っている画面があります。アンドンには、問題があった人の場所が表示されるので、すぐに駆けつけることができます。 ・ボンネットには「指示ビラ」という紙が貼ってあります。お客さんが注文した色や種類などが書かれていて、間違いがなくてきばきと作業ができます。 ・部品は、余らせないように別な工場で作られ、少なくなるとトラックで運ばれてきます。 ・一台の自動車に必要な部品は、あらかじめ箱にそろえて入れられ、自動車と一緒に運ばれてきます。手間が省けて作業に集中できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料として、教科書、資料集のほかにタブレットも活用し、調べたことを動画から視覚的に捉えながら理解できるようにする。
	<p>4 グループごとにクラゲチャートにまとめながら組み立て工場の工夫について話し合う。</p> <p>△クラゲチャートを使って、グループごとに組み立て工場での工夫について話し合しましょう。また、なぜその情報が大事なのか理由も説明しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は機械やロボットを使った工夫です。理由は、作業している人が楽になり、集中してできると思ったからです。 ・ぼくは「組み立てライン」が大事だと思います。理由は、作業を分担して正確に作るから、働く人が効率よく作業できるからです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いの際に、「なぜその情報を選択したのか」について、選択の理由を明確にしながら話し合わせることで自分の考えに確信を持ったり、当初自分が気づいていなかったことに気づかせたりさせる。(視点1) ・張り出した付箋は囲ませて、短い言葉でまとめさせ、キャッチコピーづくりに生かせるようにする。

	<p>・効率よく作業することなら、ボンネットに貼られた「指示ビラ」も大事です。お客さんが注文した色や種類などが書かれていて、間違いがなくてきばきと作業ができます。</p>	
	<p>・部品は、余らせないように別な工場で作られ、少なくなるとトラックで運ばれてきます。これも、効率がよくなると思います。</p> <p>・一台の自動車に必要な部品は、あらかじめ箱にそろえて入れられ、自動車と一緒に運ばれてくるそうです。手間が省けて作業に集中できます。</p> <p>・ぼくは「ひもスイッチとアンドン」が大事だと思います。理由は、教科書の16ページにある言葉から、問題があったときはひもスイッチを引いた人の場所がアンドンの表示や音でわかるので、チームのリーダーが駆けつけて問題を解決するから、何かあってもすぐに対処できるからです。</p>	
<p>1 5 分</p>	<p>5 話し合った内容を全体で発表し、組み立て工場の工夫について共有する。</p> <p>○ グループごとにまとめたことを発表し合います。どのような事柄に注目しましたか。</p> <p>(例1) ぼくたちは「組み立てライン」と「指示ビラ」に注目しました。理由は、組み立てラインで分担して作業することで効率よく作業ができるし、「指示ビラ」はお客さんが注文した色や種類などが書かれていて、間違いがなくてきばきと作業ができるからです。</p> <p>(例2) 私は部品を余らせないようにトラックで運んだり、一台の自動車に必要な部品は、あらかじめ箱にそろえておいたりすることに注目しました。理由は、余計なものがないことや、先に部品をまとめておくことも効率が良くなると思ったからです。</p> <p>(例3) ぼくたちは「ひもスイッチとアンドン」です。理由は、教科書の16ページにある言葉から、問題があったときはひもスイッチを引いた人の場所がアンドンの表示や音でわかるので、チームのリーダーが駆けつけて問題を解決するから、みんなで協力してよい自動車をつくらうとしていると思うからです。</p> <p>(例4) わたしたちは安全に作業をしやすくする工夫を会社に提案していることに注目しました。理由は、みんなで知恵を出し合ってよりよい自動車をつくっていると思ったからです。</p>	<p>・グループごとの情報量が多いため、ここでは特に強調したい点について2点に絞って説明させる。伝えたい部分の選択を迫ることで、思考の活性化を促していく。</p> <p>・発表の際は黒板の前に全員で集まる。目の前の友達に説明すること、発表者に目を向けることを意識することで子ども達同士による対話を意識させる。</p>

	<p>○ 皆さんが発表した内容の中で似ているところや関係しているところはどこでしょうか。</p> <p>・私は「組み立てライン」「指示ビラ」と部品を余らせないこと、部品をまとめておくことが関係していると思います。全部効率よく自動車をつくるための工夫だと思うからです。</p> <p>・ぼくは、「ひもスイッチ」「アンドン」「会社に提案すること」が関係していると思います。働いている人達が協力し合ってよい自動車をつくらうとしていると思うからです。</p>	<p>・教師は発表された内容を黒板のクラゲチャートに整理してまとめたり、関連付けたりしながら、様々な要素が関連しながら自動車が作られていることを理解させる。(視点3)</p>
<p>終末 10分</p>	<p>6 本時のまとめをする。 △ 今日の学習をふりかえり、組み立て工場の工夫のキャッチコピーを考えて書きましょう。</p>	<p>組み立て工場での工夫について調べたことをもとによりよい自動車を効率よく作るための様々な工夫や努力の関係性をクラゲチャートを活用して考えることができる。 (社会的な思考・判断・表現)</p>

8 板書計画



9 実際の授業の様子から ～成果と課題～

(1) 成果

①グループごとにクラゲチャートにまとめながら組み立て工場の工夫について話し合う場面

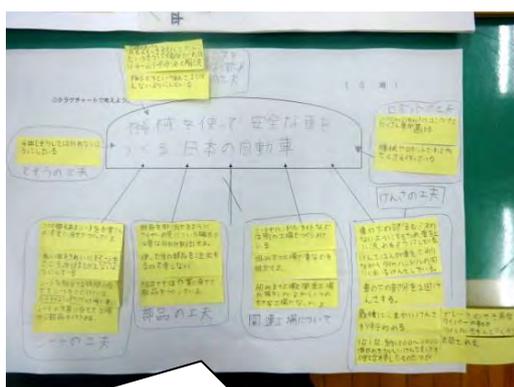
本単元を通して、調べた工夫をクラゲチャートにまとめていく過程で「なぜその情報を選択したのか」を発問してきた。本時でも、組み立て工場働く人々の工夫について、自分が調べたことをグループで



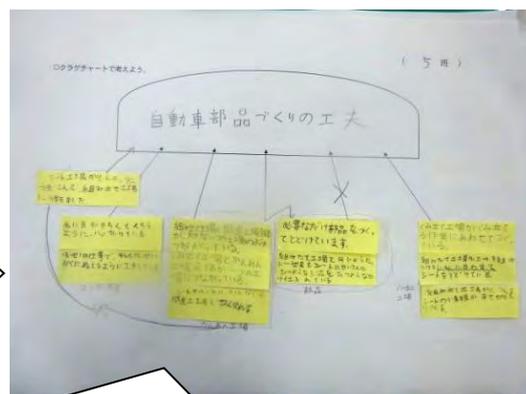
説明する中で、「ぼくは今出たひもスイッチとアンドンは一緒だと思います。理由は、教科書にどちらも一緒に書かれているし、それに二つとも何か問題があった時にスムーズに作るための工夫で、これがあるから働いている人が協力できると思ったからです。」と発言した児童がいた。この児童のように、多くの子が自動車づくりの工夫の根拠となる事柄を引用し、自分なりの思いや考えを付け加えながら説明できる子が増えてきた。

②クラゲチャートに整理してまとめたり、関連付けたりする場面

思考ツール「クラゲチャート」を活用したことで、自動車づくりには様々な工夫があることを視覚的に理解でき、社会科が苦手な児童についても自分なりの考えを書くことができた。また、クラゲの足の部分に調べた内容を書かせ、それを囲んだりつなげたりしたことで、工夫には関連性があることをとらえ、それをもとにキャッチコピーを作る際に抽象化してまとめることができた。思考ツールの活用については、単元が進むにつれてどのような考え方をしていけばよいのかが実感することができ、第5時では第4時に学んだことを生かして、グループ学習の段階で進んで調べたこと同士を関連付けて考えることができた。



第4時。調べたことがらを工夫ごとに囲み、短い言葉にまとめ、キャッチコピーを考えた。



第5時。第4時の全体学習をもとに自分達で関連付けを行い、調べた工夫同士のつながりも考えている。

○実際に児童がつくったキャッチコピー

「機械を使って安全な車をつくる日本の自動車」「分担してむだをつくらない日本の自動車工業」
 「お客様に安全な製品をとどける日本の自動車工業」

また、授業後の様子を見ると、社会科だけでなく、国語や学級活動などでもクラゲチャートを使って考えをまとめていく場面が見られるようになった。